

**要望事項 (優先順位 上高野1, 岩倉3学区3, 八瀬2, 大原3, 久多3)**

広域的な獣害対策について

**要 旨****(上高野学区)**

鹿の頭数が増えていることから、樹木への被害と、土砂災害への影響を懸念しています。調査と対策をお願いいたします。

**(岩倉3学区)**

岩倉学区は、急速に宅地化も進み人口が増えています。岩倉には、自然がまだ多く残っている一方で、野生の動物が多く生息しています。特に、猿は、集団で出てくるため、老人、子供を脅かしています。また、猪、鹿は、農作物、植林等に被害が出ています。有効な対策を切に要望します。

**(大原学区)**

猿や鹿、猪の獣害が以前よりも多発しております。特に鹿による農産物への被害が目立ち、当局の指導で対策チームを立ち上げても効果が乏しいのが現状です。駆除対策が最も重要と思われるので、駆除の実施をお願いします。

**(八瀬学区)**

洛北地域全体で、鹿・猪・熊やハクビシン、ヌートリアなどの広域な獣害対策をお願いいたします。特に、捕獲後の処分方法の明確な指示、指導をお願いします。放獣か、殺処分か、施設等へ連絡して、引き取ってもらうか、獣種も含めて明示をお願いします。

**(久多学区)**

猿、鹿等の田畑荒らしに住民が困り果てています。頭数の異常は数量がもたらしています。頭数の削減をお願いします。

**回 答****(環境政策局)(文化市民局)(産業観光局)**

サルやシカ、イノシシなどの野生鳥獣が農林地や住宅地に出没し、農林作物に被害を及ぼしていること、また、区民の皆様の暮らしを脅かしている憂慮すべき現状につきましては、本市としても十分に認識しております。

このため、本市では、市役所内関係部署、関係機関及び関係団体等で連携し、全庁挙げてサル、シカ、イノシシをはじめとする野生鳥獣対策に取り組んでいるところです。

左京区内の関係学区におかれましては、サル、シカ、イノシシ等の被害対策の一環として、これまでから「獣害対策チーム」において御尽力いただいております。さらに、平成26年度からは、新たな学区を加えて構成する「左京区獣害対策チーム連絡協議会」を設立され、積極的に御活動いただいております。

このような地域住民主体の自主防除組織の設立・活動に対して支援を行っているとともに、野生鳥獣の追払い活動を専門業者や「京都市野生鳥獣保護管理協議会」に委託し、野生鳥獣対策の充実を図っています。併せて、農林作物被害対策として、平成

24年度から、農林家団体を中心とした自主防除活動を支援し、花火等の追払い物品の提供等を行っています。また、防除対策・追払いと合わせて、「京都府猟友会」に委託し、捕獲対策を行っています。

なお、捕獲後の処理につきましては、埋設又は、自家消費として、適切な処理を図っています。

シカ、イノシシについては、被害を未然に防ぐため計画的捕獲を実施するとともに、被害が発生したときは、加害個体の捕獲を実施しています。とりわけ、シカについては、平成25年度から、出没状況や周辺環境に応じて、中型の囲いわなや自動捕獲機材を導入し、効率的な捕獲にも取り組んでおります。

併せて、個体数を減らすため平成26年度からシカの奨励金制度を創設し、積極的な捕獲を行っています。

また、シカによる植林木の被害対策としては、防護柵の設置に対して、一定の助成を行う制度を設けております。

サルについては、平成23年度から、岩倉・八瀬、上高野・修学院、大原などに出没するサルの群れを対象に、群れの行動調査を行い、農地や住宅地に出没しないよう山中への追い上げを行うとともに、平成24年度からは捕獲を強化し個体数を減らすなど農作物・市民生活被害の防止に取り組んでいます。

特に、久多、大原、岩倉、八瀬、上高野・修学院において、車のカーナビにも使われている全地球測位システム（GPS）を活用した動物位置情報システムを導入し、地図で見える形で群れの監視と捕獲に取り組んでいきます。

ハナレザルについては、地域住民からのサルの行動情報を基に、地域住民と協力した追い払いや捕獲に取り組んでいます。

ヌートリアについては、生態系への影響が懸念されますが、直ちに影響を及ぼす状況ではないと考えられることから、現在は、本市及び京都府の目視調査により、ヌートリアの生息状況の把握に努めるとともに、餌やり行為を発見した場合は、行為者に直接啓発を行っております。

クマについては、目撃情報を京都府及び市の関係機関で情報共有し、必要に応じて京都府と連携して注意看板の設置やチラシ配布を行い、地域住民への注意喚起を行うとともに誘引物の除去等防除対策を行っています。

特に、人身被害や農林業被害の発生する恐れが強い場合には、京都府と協議し、必要に応じて捕獲を進めていきます。

なお、平成29年7月、8月には、目撃情報が多発した左京区岩倉においては、左京区役所と連携しながら、捕獲檻を設置しました。

また、近年被害が増加しているハクビシンについては、猟友会と連携しながら捕獲に取り組んでまいります。

今後とも、農林作物被害の防止、区民の皆様の安全のため、地域住民の皆様をはじめ、京都府や他の関係機関と一体となって、総合的な野生鳥獣対策の強化に取り組んでまいりますので、御理解、御協力をお願いいたします。